

MASP DEMODAY 2026 に登壇しました（2026/2/21）

テーマ：MASP、みちのく GAP ファンド、スタートアップ、防災教育プログラム、事業化、
防災ヒーローIP

会場：東北大学 青葉山キャンパス サイエンスキャンパスホール

2026年2月21日（土）、東北大学青葉山キャンパスにて開催された「MASP DEMODAY 2026」に、当研究所の村尾修教授（国際防災戦略研究分野）が登壇し、みちのく GAP ファンドで採択された「防災ヒーローコンテンツを通じた防災教育の新市場創出と事業化モデルの構築」プロジェクトについてピッチ発表を行いました。

「MICHINOKU ACADEMIA STARTUP PLATFORM (MASP)」は、東北大学が主幹機関となり、東北・新潟の大学や高等専門学校 25 校及び、自治体・企業・VC・金融機関等が一体となってスタートアップ・エコシステムを形成するプラットフォームです。今回の DEMODAY は、2025 年度に採択された GAP ファンドプロジェクトの成果発表の場として、東京・仙台で計 4 日間にわたり開催されました。

村尾教授は、防災ヒーローIP を核とした「コンテンツ・プロダクト・イベント」を三位一体で連動させるビジネスモデルと、防災を社会インフラから文化へ変え、地域実装からグローバルIPプラットフォームへと展開する成長戦略について発表しました。2月11日に実施した「ぼうさいワクワクステージ」での実証実験の成果を紹介し、2026年以降の事業化と将来的なグローバル展開へと進むロードマップを示しました。

会場には、事業会社、ベンチャーキャピタル、投資家など多くの関係者が集まり、防災ヒーローIP を活用した新しい防災教育市場の創出に高い関心が寄せられました。



村尾教授が掲げる TWX プロジェクト



登壇の様子

文責：村尾修（国際防災戦略研究分野）